



2021/01

品質管理課 住友

品質管理課 住友です。

品質かわら版、第6回目はカーペットについてお伝えします。

カーペットの汚れは乾いた汚れ、つまり土砂と綿ぼこりが主となります。

そしてメンテナンスにとって一番手ごわい汚れは、建物に来館する方々の靴底について持ち込まれる土砂によって汚れると言われてています。

土砂は硬く、繊維の表面に付くと細かな傷が付きます。その傷に汚れが付着しやすくなります。傷がつくとカーペットの繊維の強度が弱くなり、靴で踏みつぶされることで歩行ライン（獣みち）が発生し、元の直立した形に戻らなくなります。

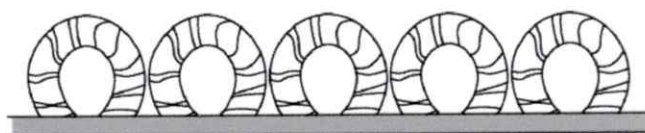
建物の入り口から6～7歩（4～5m）までの間に、80%の土砂は落ちてしまうそうです。

日常清掃においては、クリーナーによる吸塵作業とシミ除去作業が非常に重要となります。

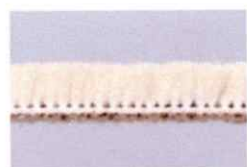
カーペットの構造や特性に応じた対応が必要となり、汚れの状態をよく見極める事が大切です。

## 床カーペットの織り方の分類

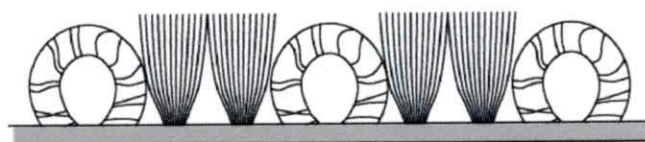
ループ



カット



カット&ループ



## シミの対処は早ければ早いほど良い

カーペットのシミ取りは日常清掃で行うことが望ましいです。  
繊維についたシミは早ければ早いほど除去が容易となります。  
シミの除去作業は、「なるべく早めに・範囲は狭く・繰り返し丁寧に」を心がけましょう。

カーペットは複雑な構造で出来ています。  
表面の形状をパイルと言い、何本もの細い繊維や  
糸がひねり合わされて出来ています。  
これを立体的に組み合わせてマット状にした物が  
カーペットです。

その表面積を合計すると膨大な広さになり、  
塩ビタイルの100倍以上あるといわれています。  
1㎡のカーペットはPタイルなら100㎡以上の  
広さがあるといわれています。

カーペットの汚れの特徴は…



…表面にあった  
ゴミや土砂が  
…次第に内部に  
入り込んだり  
濡ったものや  
流動性の汚れが固着して  
化学変化をおこし  
除去できない汚れと  
なってしまうことです









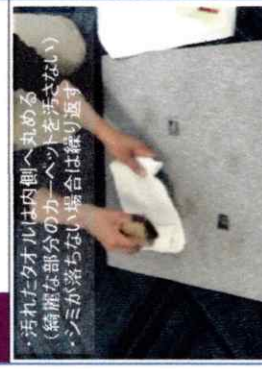





この立体的なカーペットの表面に汚れが付着したらどうなるのか考えてみて下さい。  
また、時間の経過と共に汚れは下部や繊維の深部へもぐりこみ固着や  
化学変化を起こしてしまいます。  
…これらを考えれば必然と早めのシミ除去が必要と理解できます。

## カーペットのシミを除去後の輪ジミ

輪ジミの原因には2つの要因があります。  
原因の1つは洗剤・溶剤の使い過ぎがあります。  
シミを早く除去しようと、最初から多量の洗剤・溶剤を使用  
しまいがちです。  
最初に多くの洗剤を使用することで、溶けた汚れが周囲に  
広がり、タオル等で吸収する速度より早いいため輪ジミとなってしまいます。  
もう1つの原因は、シミの範囲よりやや離れた箇所から洗剤・溶剤を使用した場合です。  
こうすると、洗剤・溶剤で湿ってしまい、溶けた汚れがすぐ浸透してしまいます。  
以上のことから、基本手順をしっかり身につけ正しくシミを除去しましょう。





<p><b>1</b> シミ取りの用具を揃える (シミ取りブラシ・タオル・洗剤・水)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・シミ取りブラシ</li><li>・タオル</li><li>・スプレーA(洗剤)</li><li>・スプレーB(水)</li><li>・タオル</li></ul> 	<p><b>2</b> タオルを縦に巻き準備</p> 	<p><b>3</b> タオルでシミの状態を確認する</p> 	<p><b>4</b> 洗剤を噴霧する</p> <p>・シミが広がらないようにシミの中心に向かって噴霧する</p> 
<p><b>5</b> タオルをシミの上に置く</p> <p>・縦折にしおめたタオルの上部半分を使う(残り半分も有効に使うため)</p> 	<p><b>6</b> シミ取りブラシをタオルの上へ置く</p> <p>・ブラシの上に入差し指を置く ・ブラシ全体を使い、ブラシに振動を与え、シミをタオルへ移す(決して擦らない)</p> 	<p><b>7</b> シミの除去 (ブラシを縦に置く)</p> <p>・ブラシを縦に置き振動を与える</p> 	<p><b>8</b> シミの除去 (ブラシを横に置く)</p> <p>・ブラシを横に置き振動を与える</p> 
<p><b>9</b> 数回繰り返す (1回の噴霧で3回)</p> <p>・汚れたタオルは内側へめぐる(綿部分のカーペットを汚さない) ・シミが落ちない場合は繰り返す</p> 	<p><b>10</b> リンスを行う</p> <p>・リンスは広範囲で噴霧する(洗剤が広がったことを想定)</p> 	<p><b>11</b> 洗剤の除去 (ブラシを縦に置く)</p> <p>・ブラシを縦に置き振動を与える</p> 	<p><b>12</b> 洗剤の除去 (ブラシを横に置く)</p> <p>・ブラシを横に置き振動を与える</p> 
<p><b>13</b> 数回繰り返す (1回の噴霧で3回)</p> <p>・前～⑩の工程を繰り返す</p> 	<p><b>14</b> 確認</p> <p>・カーペットに水分が残っていないことを確認</p> 	<p><b>15</b> 自立て(カーペット繊維の起毛)</p> <p>・ブラシ使用し、カーペットの(縦・横)繊維の起毛を行う</p> 